

鹿児島県特産品協会だより

Vol. 28 Winter

Contents

- ▶ 特集
「独創的で芸術性の高い世界に誇れる特産品開発を」
1. 2013かごしまの新特産品コンクール入賞商品決定! … 1
2. きらり輝け! 魅力あふれる特産品づくりセミナー … 2.3
- ▶ アジアの市場動向 … 4
・シンガポール市場リポート
・韓国食品総合見本市「FOOD WEEK KOREA 2013」
- ▶ 会員紹介 … 5
・阿久根市観光連盟「阿久根まちの駅」
・藤安醸造株式会社
- ▶ 特産品協会インフォメーション … 6
・インターネットを活用していつでも商談可能
・「これぞKAGOSHIMA!自慢の逸品大発表会」の開催
- ▶ ふるさと特産運動推進指導員の声 … 6



シンガポールで10月17日～19日に開催された「Oishii JAPAN2013」に出展しました。3日間で約5,800人(前年比113.5%)が来場され、当協会のコーナーに出展した5社は、計57件の商談を行いました。

▶ 特集 「独創的で芸術性の高い世界に誇れる特産品開発を」

その1

2013かごしまの新特産品コンクール入賞商品決定!

平成25年10月11日(金)に「2013かごしまの新特産品コンクール」を開催しました。桜島大正噴火100周年を控えて、昨年続き「火山関連商品の部」を設け、食品部門122品目、工芸品46品目の計168品目の出品がありました。今回は、15名の審査委員に厳正に審査いただきました。

審査委員からは、「鹿児島にこだわった商品が多く、目新しさや珍しさがある。発想も面白い」「複数の蔵元が共通のテーマ・コンセプトで商品を作るのは今までにない試みで面白い」「地元の素材を使用しており、実用性や機能性、デザイン性も兼ね備えている」という意見がある一方で、「どこで誰に売りたいかという購買層の絞り込みが必要。内容量が多い」「味は良いが、意外性が足りない。鹿



児島らしい特徴がない」「技術力は評価できるが、価格が高く、需要があるのか」などの意見もありました。

また、審査会には、県内外からバイヤーを5名招待して出品商品の内覧と商談会を実施した結果、19件の商談があったほか、バイヤーから効果的なアドバイ



スがなされるなど出品者から大変好評でした。

審査の結果、22点の入賞商品が決定しました。すでに県内外から多くの問合せのある商品もあります。今後、県内外のいろいろな機会をとらえて広く宣伝紹介していきます。また、出品された全商品を当協会のホームページで紹介しておりますので、ご覧ください。